

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	国際文化交流・協力推進事業		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	長官官房国際課		国際課長 佐藤 透	
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	諸外国との友好と相互理解を深めるため首脳間や政府間で設定される周年事業等により、国際的な要請もしくは文化政策上の意義に基づく国際文化交流・協力の重要案件にかかる必要な事業を実施し、もって国際文化交流の振興を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	諸外国との友好と相互理解を深めるため首脳間や政府間で設定される周年事業等により文化政策上の意義、及び国際的貢献の意義に基づき、国として対応が必要となるトップレベルの日本の文化芸術の発信事業や国際文化交流事業の企画・実施を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	251	251	350	269	269
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	251	251	350	269	269	
	執行額	158	195	350	-	-	
執行率(%)	63.2%	77.9%	99.9%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	文化交流事業による文化芸術振興や国際文化交流については、事業の実施による短期的な目標達成ではなく、中長期的な視点に立ち、各地域での文化振興が浸透していくことが多く、成果がすぐにあらわれないことから、定量的な指標を設定することは困難である。			成果実績			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国際的な要請もしくは文化政策上の意義に基づく国際文化交流・協力の重要案件にかかる必要な事業数			活動実績 (当初見込み)	8	11 (5)	13 (6)
単位当たりコスト	25(百万円/事業)		算出根拠	平成23年度執行額:350百万円/事業数13			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	文化芸術振興委託費	269百万円	269百万円				
	諸謝金	0.3百万円	0.3百万円				
	委員等旅費	0.3百万円	0.3百万円				
計	269百万円	269百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は首脳間や政府間で設定される周年事業等において、文化政策上の意義や国際貢献の観点からの意義に基づき、国としての対応が必要となるトップレベルの文化芸術発信事業や国際文化交流事業を実施している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	政府間での覚書等により支出先が限定されているものを除き、公募を行っており競争性を担保している。また支出費目については、事事委託要項に定め、事業実施に必要なものに限定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は外務省や国際交流基金とも連携し、諸外国におけるニーズを踏まえた上で、一年に複数回、事業委員会を開催し、その都度、文化政策上意義深い事業を採択している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	上記、評価に関する説明にも記載したとおり、事業実施の必要性は高く、資金投入の合理性を確保している。また、国庫支出の在り方についても、外務省や国際交流基金との二重払がないように各省で情報共有をするとともに、委託事業者に証憑関係書類の提出を求め、その内容の突合を行うことで適正性を担保している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、諸外国との友好と相互理解を深めるため首脳間や政府間で設定される周年事業等において公演・展示等を実施する委託事業であり、事業成果等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業については、外交上、国として機動的な対応が必要となる事業を実施するものではあるが、事業の成果指標の適切な設定やフォローアップなどにより事業のPDCAサイクルを強化し、より効果的・計画的な事業のあり方を検討するとともに、積算の見直し等によりコスト削減に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	当該年度に重点的に実施すべき国際文化交流事業について、内容の重要性や相手国の意向等を踏まえつつ、総合的に見直しを行い、概算要求に▲91百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）（平成23年2月8日閣議決定） http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0490	平成23年行政事業レビュー	0409

※平成23年度実績を記入

文化庁
350百万円

諸謝金等 1百万円 を含む

↓

【公募・委託】
A.各芸術団体等
全13機関
349百万円

（首脳間や政府間で設定される周年事業等、文化政策上の意義の高い事業を実施）

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごと に最大の金額が支出さ れている者について記 載する。費目と使途の 双方で実情が分かるよ うに記載）	A.株式会社NHKプロモーション			C.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	旅費、諸謝金、損借料等	39			
	再委託費	海外パネリスト旅費・翻訳費等	16			
	人件費	総合プロデューサー・ディレクター等	2			
	一般管理費		4			
	計	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない	60	計		0
	B.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社NHKプロモーション	世界文明フォーラム2012	60	企画競争	—
2	日中友好映像祭実行委員会	「日中映像交流事業」(日本映画週間、日本アニメフェスティバル)開幕イベント	55	企画競争	—
3	日本書籍出版協会	サロン・ド・リーブル2012における「日本年」事業	37	企画競争	—
4	株式会社電通	『日米桜寄贈100周年』における日本の現代ポップカルチャー発信事業	30	企画競争	—
5	日独交流150周年記念イベント(平和の光のメッセージ)実行委員会	日独交流150周年記念イベント(平和の光のメッセージ)	24	随意契約 事前確認公募	—
6	株式会社電通	Indonesia日本ポップカルチャーフェスティバル	21	企画競争	—
7	日越友好音楽祭~この平和を夢みて~実行委員会	日越友好音楽祭~この平和を夢みて~	20	企画競争	—
8	アジア国際子ども映画祭実行委員会	アジア国際子ども映画祭	20	企画競争	—
9	日韓交流おまつり2011 in Tokyo 実行委員会	日韓交流おまつり2011 in Tokyo	20	企画競争	—
10	株式会社NHKプロモーション	日中韓首脳会談時サイドイベント「日中韓三国伝統工芸作品展」	18	企画競争	—